

5年	科目	日本語	講義	通年	担当	高澤啓子 TAKASAWA Keiko
全学科共通		Japanese as a Foreign Language for International Students	選択	1履修単位		
授業の概要						
<p>長い留学生活を送るためには「生活に必要な日本語」「人間関係をつくるために必要な日本語」「学業に必要な日本語」がどれも必要となる。いまや高い知識と能力、技術があれば、日本人も外国人も同じ条件で進学・就職が可能な「グローバル人材時代」となっている中で、留学生にはより高い日本語能力が求められる。上級レベルになり表現力がつくと、微妙なニュアンスを伝えるより豊かな表現や使い分けが要求されるようになる。また、不自然な日本語の文使用では内容が正しく伝わらないだけでなく、文章そのものの評価も下がってしまう。上級に至っても誤用が多い文法項目を見直し、それぞれの立場や状況で期待されるコミュニケーションが持てるようになることを目指し、文法上・用法上のルールについて考え、読む人の立場に立った文章の作り方、場面に応じた使い方とふさわしい表現を学ぶ。前期の初めでは、日本の大学に編入学する際の進学と奨学金のための面接練習をする。</p>						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
	○	4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)	実践指針 (プログラム対象科目のみ)			実践指針のレベル (プログラム対象科目のみ)		
授業目標						
<p>自分の立場、話す相手の立場、読む人の立場、周囲の状況に応じてふさわしい表現と正しい文法が選べる。 微妙なニュアンスや気持ちを伝えることが出来る。 知識として得た文法、用語と表現を使用して実際に作文やコミュニケーションが出来る。 「日本(人・社会)」という異文化を理解しカルチャーショックを克服出来る。</p>						
授業計画						
第1回	前期オリエンテーション	授業概要、評価基準等の説明。地震と防災について。				
第2回	面接、第1課	進学と奨学金応募のための面接練習、助詞の使い方				
第3回	面接、第1課	進学と奨学金応募のための面接練習、助詞の使い方				
第4回	面接、第2課	進学と奨学金応募のための面接練習、言葉の形の使い分け				
第5回	面接、第2課	進学と奨学金応募のための面接練習、言葉の形の使い分け				
第6回	面接、第3課	進学と奨学金応募のための面接練習、自動詞・他動詞・受け身				
第7回	面接、第3課	進学と奨学金応募のための面接練習、自動詞・他動詞・受け身				
第8回	前期中間試験	まとめ				
第9回	第4課	呼应				
第10回	第5課	文末表現の調整				
第11回	第6課	ひらがなと漢字のバランス				
第12回	第7課	漢字の選択と誤変換				
第13回	第8課	カタカナの使い方				
第14回	第9課	読点の打ち方				
第15回	第10課	書き言葉らしさ				
	前期末試験					
第16回	テーマ学習	高専祭参加				
第17回	テーマ学習	高専祭参加				
第18回	第11課	辞書の危険性				
第19回	第12課	専門用語の選び方				
第20回	テーマ学習	高専祭参加				
第21回	テーマ学習	高専祭参加				
第22回	第13課	文の長さや読みやすさ				
第23回	後期中間試験	まとめ				
第24回	第14課	指示詞による文の接続				
第25回	第15課	接続詞と文章の構成				
第26回	第16課	読み手への配慮				
第27回	第17課	レポートの基本的な書き方(意見と事実)				
第28回	第18課	レポートの基本的な書き方(複雑な内容の整理)				
第29回	第19課	立場のある文章の書き方				
	学年末試験					
第30回	総まとめ	試験解答解説、評価説明等				
評価方法 と基準	前期・後期(試験50%、課題・提出物30%、出席・授業態度20%) 学年末評価(前期40%、後期40%、選択課題20%)					
教科書等	留学生のための ここが大切 文章表現のルール 石黒圭・筒井千絵著(スリーエーネットワーク)					

備考

- 1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。
- 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。